

センチピードグラス種審査基準

1 基準の対象

この審査基準は、イネ科 (Graminea) のムカデシバ属のセンチピードグラス種 (*Eremochloa ophiuroides* (Munro) Hack.) の全ての種に適用する。

2 特性検定のための栽培試験方法

(1) 個体植区

① 栽植密度：200 cm × 200 cm

② 供試個体数及び反復数

イ 種子繁殖性品種の場合

1区 20個体 3反復 合計 60個体

ロ 栄養繁殖性品種の場合

1区 5個体 3反復 合計 15個体

(ただし、イ、ロのいずれも周辺に2個体の番外区を設けること。)

③ 施肥量：g/m² 炭酸苦土石灰 50～100g 窒素・カリ各 5 g

追肥として窒素・カリ各 4 g 施用

④ 試験年数：春播き（5月上中旬）の場合は播種年及び翌年の2年間、秋播きの場合は播種翌々年までの3年間

(2) 密植又は密播区

① 栽植密度

イ 種子繁殖性品種の場合

播種量（5 g/m² 春播き）

ロ 栄養繁殖性品種の場合

15 cm × 15 cm

② 1区面積と反復数：1区 2 m² × 3反復

③ 施肥量：個体植区と同じ

④ 試験年数：個体植区と同じ

2. 特性審査基準
(1) 特性調査基準

重要な形質	形 質	定 義		状 態 又 は 区 分	階 級	標 準 品 種	備 考
草型	1.草型	主要な葉が地表と作る角度の大小	観察	極直立 直 立 中 間 ほ ふ く 極ほふく	1 3 5 7 9		
茎の形状	2.出穂茎の太さ	出穂期における出穂茎の直径	測定 0.1 mm 単位	極 細 細 細 中 太 太 太 極 太	1 3 5 7 8	普通種 (赤軸)	
	3.出穂茎の長さ	出穂期における地際より穂の基部までの長さ	測定 cm 単位	極 短 短 中 中 長 極 長 長 疎	1 3 5 7 9	普通種 (赤軸)	
ほふく茎の形状	4.ほふく茎の密度	定着年の秋における単位面積当たりの地上ほふく茎の長さ	観察 又は 測定	極 疎 疎 中 密 密 極 密 密 細	1 3 5 6 7 9	普通種 (赤軸)	
	5.ほふく茎の太さ	ほふく茎の先端より4～5節間の直径	観察 又は 測定 0.1 mm 単位	極 細 細 中 中 太 極 太	1 3 5 7 9	普通種 (赤軸)	
	6.ほふく茎の長さ	最長のほふく茎の長さ 1区画3本 (個体植区))	測定 cm 単位	極 短 短 中 中 長 極 長 長 長	1 3 5 7 9	普通種 (赤軸)	
葉の形状	7.葉長	初夏における成葉の葉身の長さ	測定	極 短 短 中 中 長 極 長	1 3 5 7 9	普通種 (赤軸)	
	8.葉幅	初夏における成葉の葉身の最大幅	観察 又は 測定	極 狭 狭 中 中 長 極 広	1 3 5 7 9	普通種 (赤軸)	
	9.葉色	初夏における葉身の緑度	観察	極 淡 淡 中 中 濃 極 濃	1 3 5 7 9		
穂の形状	10.穂長	穂先より穂の基部までの長さ	測定	極 短 短 中 中 長 極 長	1 3 5 7 9	普通種 (赤軸)	

重要な 形質	形 質	定 義		状 態 又 は 区 分	階 級	標 準 品 種	備 考
穂の形 状	11.穂の色	えいの色	観察	極 淡 淡 中 中 濃 極 濃	1 3 5 7 9		
	12.小穂の長さ	小穂の長径	観察 又は 測定 0.1 mm 単 位	極 短 短 中 中 長 極 長	1 3 5 7 9	普通種 (赤軸)	
	13.小穂の幅	小穂の幅	観察 又は 測定 0.1 mm 単 位	極 細 細 中 中 太 極 太	1 3 5 7 9	普通種 (赤軸)	
	14.小穂数	1 穂に着生する小 穂の数	計数	極 少 少 中 中 多 極 多	1 3 5 7 9	普通種 (赤軸)	
種子の 形状	15.脱えい生	脱えいの難易	観察	極 不良 不 中 中 良 極 良	1 3 5 7 9		
	16.種子重	1,000 粒の重さ	測定 mg 単 位	極 軽 軽 中 中 重 極 重	1 3 5 7 9	普通種 (赤軸)	
初期生 育の良 否	17.初期生育	播種又は植付後の 生育の良否	観察	極 不良 不 中 中 良 極 良	1 3 5 7 9		
草勢	18.春の草勢	早春の草量の多少	観察	極 不良 不 中 中 良 極 良	1 3 5 7 9		
	19.秋の草勢	初秋の草量の多少	観察	極 不良 不 中 中 良 極 良	1 3 5 7 9	普通種 (赤軸)	

重要な 形質	形 質	定 義		状 態 又 は 区 分	階 級	標 準 品 種	備 考
出穂期	20.出穂始	出穂を開始した月 日	観 察	極 早 早 中 晩 極 晩	1 3 5 7 9		
出穂性	21.春秋の出穂 の有無	春及び秋に出穂す るかしないか	観 察	春も秋も出 穂しない 春のみ出穂 秋のみ出穂 春も秋も出 穂	1 2 3 4		
	22.穂数	春及び秋の出穂盛 期における単位面 積当りの穂数	観 察 又は 測 定	極 少 少 中 多 極 多	1 3 5 7 9	普通種（赤軸）	
再生性	23.再生の良否	刈取後の成長	観 察	極不良 不 良 中 良 極 良	1 3 5 7 9	普通種（赤軸）	
生育期 間	24.緑化の早晩	緑化開始月日	観 察	極 早 早 中 晩 極 晩	1 3 5 7 9		
	25.紅葉の早晩	秋の葉身の変色開 始月日	観 察	極 早 早 中 晩 紅葉せず	1 3 5 7 9		
越冬性	26.越冬の良否	寒冷地において越 冬中の枯死率、早 春の再生力、草勢 などの観察により 総合的に評価す る。	観 察	極不良 不 良 中 良 極 良	1 3 5 7 9	普通種（赤軸）	
環境耐 性	27.耐陰性	寡日照条件におけ る生長量の多少	観 察	極 弱 弱 中 強 極 強	1 3 5 7 9		
	28.耐干性	乾燥条件における 生長量の多少	観 察	極 弱 弱 中 強 極 強	1 3 5 7 9		

重要な 形質	形 質	定 義		状 態 又 は 区 分	階 級	標 準 品 種	備 考
環境耐 性	29.耐塩性	含塩土壌における 生長量の多少	観察	極 弱 弱 中 強 極 強	1 3 5 7 9	普通種（赤軸）	
耐踏圧 性	30.耐踏圧性	踏圧を加えた後の 生育の良否	観察	極 弱 弱 中 強 極 強	1 3 5 7 9		